Encounters with new world

毎日ワクワク。
未知との出会いが世界を広げる。

貝塚中央福祉会は、昭和５１年の開園以来、たくさんの子どもたちを見守ってきました。
歴史を重ねながら、時代のニーズにあわせた新しい保育を取り入れ、実践しています。
乳児期・幼児期は、将来の基礎を作る大切な時期。
私たちは、自分らしさを大切にし、自らの力で生きていける子どもに
成長することを願い、毎日楽しい時間を過ごしています。

環境や遊びを通して「生きる力」を養い、あたたかく、
柔らかな心が持てるよう、未来の宝物を大切に育んでいきたいと思います。

保育ポリシー

子どもは日々成長していきます。保育者は専門性を生かし、発達に応じた保育を行います。

子どもたちの笑顔のために

子どもたちの笑顔を大切にしたい。すべてはそこから始まっています。私たちは子どもの“やってみたい”という思いを見逃さず、どんな小さなことでもしっかりと汲み取るように心がけています。手を伸ばした先にやりたいことがあれば、子どもたちは自ら進んで遊びに取り組みます。そして自分が認められる、つまり、愛されていると感じたときに笑顔がこぼれるのです。そのまぶしい笑顔のために私たち保育者は存在しています。

いつも同じ先生がいてくれるから安心

私たちは、こども園・保育園を第二の家庭と考えています。1対1で向き合い、しっかりと目を配り、月齢や年齢に応じた丁寧な保育をすることによって愛着関係が生まれます。
いつも決まった保育者と過ごすことで、子どもたちは見通しを持ち、安心して落ち着いた生活（食事・排泄・睡眠）が送れるようになるのです。

保育環境

子どもたちが安心して生活できるよう、細心の配慮をしています。

自分のペースで遊べる楽しさ

家庭のやさしさを感じられるよう、あたたかな部屋作りに取り組んでいます。部屋の中にいくつもの遊びがあり、自らが主体的に考え、選択し、行動することが自然と身につきます。

ぬくもりのある木のおもちゃが中心

園には、子どもの想像力を引き出す玩具がたくさんあります。発達に合わせた玩具は好奇心や欲求を満たし、気持ちの安定につながります。また、イメージを膨らませるように保育者がサポートしながら、グループで大きな作品を作ることもあります。

おいしい給食がからだを育てる

専任の栄養士が献立を立て、衛生的に調理をします。また、食に興味を抱くよう、みんなで野菜を育てたり、クッキングなども行っています。

※アレルギーに対応した給食もご用意いたします。